



令和8年度 越前町立宮崎中学校スクールプラン

◇越前町教育目標

自らの可能性を最大限に発揮し、他者と共に幸せな未来を切り拓く子どもの育成

◇学校教育方針

よりよい未来の創り手となる子ども達の「生きる力」を育む、ウェルビーイングを基盤とした学校教育

◇目指す生徒の姿

- ・主体的に学び、考え、活動する生徒
- ・豊かな人間関係を築き、協働する生徒
- ・学校や故郷を誇りに思う生徒

◇生徒の実態

・素朴で、何事にも真面目に取り組む生徒が多い。

・男女、先輩後輩が分け隔てなく、良い人間関係を築いている。

【校訓】

みずから求めて進み そして 自分の最善をつくす

【教育目標】

主体性、協働性、創造性の育成

【研究主題】

協働的な学びと個別最適の学びのサイクルを意識した授業作り
～「課題設定」「ICTの活用」を通して～

安心・自信を実感できる学校づくり

項目・重点目標

具体的取組

数値目標

豊かな心と健やかな体

学校・学級づくり
心身ともに健康な生活

育てる力

○自分で考えて判断できる力、他とつながることができる力

○心身ともに健康で幸せな生活を送る力

○学校生活全体を通してポジティブ教育の視点を取り入れ、自他を大切にできる気持ちを育み、誰もが安心できる居場所づくりに努める。

○自己決定の場を積極的に与え、PDCA サイクルを活用し、生徒の主体的な行動を促す。

○家庭との連携の中で、睡眠、食事などの基本的な生活習慣や正しいメディアの使い方などを身につけ、自律した健康管理ができる生徒を育成する。

・自他の良さを認め、安心・安全に学校生活を送れたと言える生徒を90%以上にする。

・よりよい行事や、生徒会活動の実現のために、主体的な態度で取り組むことができたと言える生徒を90%以上にする。

(十分できたと言える生徒を60%以上にする)

・健康的で規則正しい生活を心がけることができたと言える生徒を90%以上にする。

・心身ともに健康な生活を心がけて、正しくメディアを使うことができたと言える生徒を80%以上にする。

未来を拓く学力

授業づくり
家庭学習

育てる力

○主体的・協働的に課題を追究する力

○自分に合った課題を選択し、やり遂げる力

○生徒一人ひとりの学びを見取り、個別最適な学びにつなげる。

○単元構成と学びのゴールを生徒と共有し、振り返りを次の学びにつなげる。

○授業や家庭学習において、ICT を効果的に活用し、情報活用能力を高める。

○生徒の疑問や興味・関心から課題を設定し、ふるさと宮崎のよさを探究する生徒を育成する。

・課題意識をもって、授業や自主学習に進んで取り組むことができたと言える生徒を90%以上にする。

・授業や家庭学習において、ICT を効果的に活用することができたと言える生徒を90%以上にする。

・ふるさと宮崎のよさについて興味をもち、考えることができたと言える生徒を90%以上にする。

信頼される学校

「通ってよかった、通わせてよかった、勤めてよかった」と思える学校

○教職員が協働して、教育の質の向上を目指す。全教職員が議論し、合意形成を図る。

○「学びの専門家」として主体的に学び続ける教員であるよう努める。

○「業務改善」「校務のDX化」を推し進める。

○家庭、地域、関係機関との連携を深め、情報の収集と発信をする。

学校業務改善

重点目標

超過勤務月45時間以内

具体的取組

- ・時間外業務の自己管理
- ・行事や業務の見直しと効率化
- ・協働業務の意識向上